

# 宮田っ子

## 11・12月の生活目標

### 友達の気持ちを考えて 行動しよう

2学期も後半を迎えました。

11月、12月の生活目標は、「友達の気持ちを考えて行動しよう」です。「どんなことをすればよいのか分からない」「友達の気持ちは分かるけれど、なかなか行動できない」という人もいます。ここで宮田小学校の約束を思い出してみましよう。

宮田小学校の約束は「自分がされていやなことは人にはしない、言わない」です。「友達がいやがらないかな」「友達が困らないかな」と思うことが、相手の気持ちを考えていることになります。いやなことを「しない、言わない」ことは、相手の立場を考えて行動していることになります。

人間は一人一人違います。違っていることが当たり前であって、個性を認めながらどんな行動をとればよいのかを考えていくことも大切です。子供の発達段階に応じて、考えさせていきたいと思えます。

学校生活の中で「友達の気持ちを考えて行動している子供」の姿をたくさん見かけます。学習で分からないところがあった友達に横についてやり方を教えている子供、給食でおつゆをこぼした友達と一緒に、こぼれた物を拭き取り清掃を行っている子供、友達にいやなことをしている子に注意している子供等、このような姿を見かけるたびに、感心するとともに、「家庭教育が充実している」と思えます。

子供がどのように成長していくか、やはり基盤は家庭教育にあるのではないのでしょうか。

11月18日から生徒指導週間が始まります。いじめアンケートや個人面談を通して、一人一人の悩みを把握し、適切な指導を行いたいと考えています。宮田小学校の約束、「自分がされていやなことは人にはしない、言わない」が全校児童に浸透し、思いやりの心に満ちた宮田小学校になってほしいと思えます。

